

結果報告 ①

2530102 古代出雲歴史博物館特定天井改修(建築)工事



けんせつ小町パトロール隊として、安全衛生面のパトロールを行いました。気温が高い日が続いているので熱中症対策についても確認を行いました。

この現場は、週休2日制を取り入れていたり、残業しない等働き方改革を行っておられました。

現場事務所は、水回り等含め清潔にしておられました。喫煙所は事務所から遠く離れたところに設置されており、分煙がきちんとされていました。

【工事進捗率: 45%】

工事概要の説明



働き方改革を実施されています。



熱中症対策として、休憩所にかき氷機を設置しておられました。シロップの種類も豊富で、紙コップ一杯の量がちょうどよく、食べやすく工夫されていました。

また、現場での作業中には、目に届く場所にWBGT計がないことが多いため、熱中症指数計を職人さんに渡しておられました。熱中症対策されていることがわかります。

工事看板が一直線にきれいに並べてありました。



【指摘事項】
事務所用の分電盤に施錠がされていませんでした。関係者以外触ることができないよう施錠をお願いします。



【指摘事項】
男性用トイレのにおいが気になりました。定期的に掃除をしてください。女性用のトイレは清潔に保たれていました。

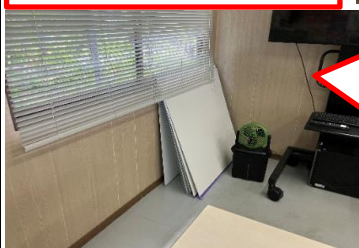
【指摘事項】
ヘルメットが棚の一番上に置いてありました。落下した際に危険なので、目線より高いところにはものを置かないでください。



【指摘事項】
机の上にあるコード類が乱雑だったので、きれいに整理整頓してください。



【指摘事項】
天井パネルが休憩所に置かれていました。撤去するか、倉庫に移動をするようお願いします。



【指摘事項】
懐中電灯が設置されていませんでした。非常時すぐに使用できるよう、わかりやすいところに置くようお願いします。

〈現場および現場周辺の様子〉



この現場は、古代出雲歴史博物館のエントランスホールと中央ロビーの特定天井改修工事を行っています。地震等により天井が落下しないように、エントランスホールは天井補強を行い、中央ロビーは天井自体を軽くします。

当日はエントランスホールで、天井パネルの荷揚げ、取付をしておられました。足場上で作業するため、フルハーネス型安全帯を着用し、安全に作業をしておられました。既存建物内で溶接作業をするため、防災シート1類を使用し、養生をしておられました。貴重な文化財を扱う建物であるため、ほこりの侵入がないように十分注意しておられました。



建物の入り口には、「ドアは開けたら閉める」と記載してありました。外から虫等が入らないよう注意されていました。



クーラーボックス



WBGT計



カオカラ

熱中症対策としてWBGT計を1階と3階に設置されていました。カオカラという、顔をタブレットにかざし、熱中症リスクを判定するシステムも導入されていました。また、クーラーボックスには、保冷剤とスポーツドリンクが入っており、だれでも水分補給ができるように工夫されていました。



「安全通路」、「昇降階段」、「足場の上にはものを置かない」、「外した手摺は元に戻す」、「積載荷重 200kg」等現場のいたるところに表示してありました。



ほうきやちりとりなどの場所が確保してありました。職人さんが使用しても片づける場所があるため、現場が整理整頓されています。



【提案事項】各業者ごとに資材置き場が決められ、明示されていましたが、資材置き場の管理者の名前も記載するとなおよいと思います。



【指摘事項】分電盤に施錠がされていませんでした。関係者以外人が触れないよう、施錠をお願いします。



【指摘事項】足場上に、単管、道板、断熱材スプレーが置いてありました。また、昇降階段付近に道具や材料が置きっぱなしになっていました。踏み転倒や、落下物事故の危険性が高まることが考えられます。速やかに撤去または移動をお願いします。照明はかためて置かれていましたが、使用しないのであれば、返却、撤去、移動をお願いします。

厳しい暑さが続き、熱中症のリスクが高まっています。現場では熱中症対策が万全に整えられていました。引き続き、熱中症予防と体調管理に十分気を付けてください。皆様ありがとうございました。ご安全に！！